

特別支援教室だより

令和5年 6月 吉日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信
令和5年度 No.3

今年度の「特別支援教室だより」では、児童の困りに対して、「その困りの原因は?」「何がしてあげられるの?」といった視点で、巡回指導教員が考えた内容を掲載いたします。

【 今回のテーマ 】



「聞くこと」が苦手な子



【 こんなことが考えられます 】

授業を受ける時には、聞く、見る、話す、読むなどの力が求められます。そして、その中でも特に「聞くこと」は大切な力となります。これはご家庭や日常の様々な場面でも同様で、子供たちが成長していく上で、人の話を聞いて、そこから学ぶことはとても多く、重要となります。しかし、子供たちの中には、話し手に注意が向きにくかったり、言われた言葉を聞いて理解することが難しかったり、聞いたことを覚えておくことがうまくできなかったりして聞くことが苦手なお子さんもいます。

【 支援できることはなんでしょう 】



- 視線を合わせるなどして、注意を引き付けてから話し始める。
- 前もって、聞き取る内容の数を知らせ、見通しをもたせる。
- 話の内容が分からない時にはどうすればよいかを教える
 - ・「もう一度言ってください。」「～ってどういうことですか?」
 - ・周りの様子を見て確認するように伝えることも一つです。
- 聞き返された時には、もう一度説明することで理解を促す。
 - ・聞いていなかったことを叱るのではなく、もう一度丁寧に伝えたり、難しそうな時は言葉を言い換えたりする。
- 自分で理解しているかどうかを確認するために、話した内容を復唱させてみる。
- 子供の話をよく聞いて、子供たちに聞き方の手本を見せていくことも大切です。

本校には5名の巡回指導教員がいます。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

